

2071

# スマートESG30総合(ネットリターン)ETN

2025年3月31日基準

## ETNの特色

「iSTOXX MUTB ジャパンESG 30インデックス(ネットリターン)」との連動を目指すETNです。

## 対象指標の概要

- 連動対象指標は、将来のESGリスクの低い上位30銘柄で構成される、ESG投資<sup>※</sup>をテーマとする指数です。  
<sup>※</sup>ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉であり、「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと
- 高ROEでかつその持続性が見込まれる企業の中から構成銘柄を選定します。
- 30銘柄への等金額投資となり、構成銘柄の定期的な入れ替えは年2回行います(6月、12月の第3金曜日の引け後に実施)。
- 構成銘柄の配当(課税後)を再投資した成果を加味したネットリターン指数を連動対象とします。

## 運用実績

### 運用実績の推移



### 一証券あたりの償還価額

当月末	13,928 円
前月比	-135 円

### 残存償還価額総額

当月末	76.60 億円
-----	----------

### ETN情報

証券コード	2071
設定日	2020年11月24日
上場日	2020年11月26日
上場市場	東京証券取引所
売買単位	1口
ISIN	JP5392020003

騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ETN	-1.0%	-5.7%	-3.1%	-0.5%	31.7%	39.3%
連動対象指標	-0.9%	-5.5%	-2.7%	0.4%	35.1%	44.5%
参考指数	0.1%	-3.6%	1.6%	-1.9%	45.6%	65.4%

※設定日は2020年11月24日です。

※一証券あたりの償還価額は投資信託の基準価額に相当するものです。

※残存償還価額総額は総口数に一証券あたりの償還価額を乗じて計算したもので投資信託の純資産総額に相当するものです。

※参考指数は、税引後配当込みTOPIXです。連動対象指標と税引後配当込みTOPIXはETN設定日の一証券あたりの償還価額に合わせて指数化しております。

税引後配当込みTOPIXの指数値及び税引後配当込みTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。

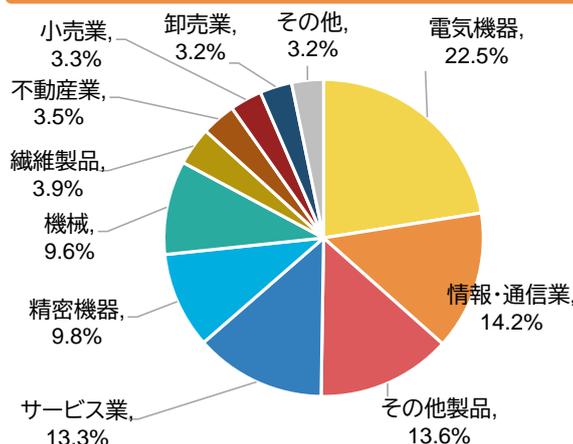
## 連動対象指標の状況

組入銘柄数: 30銘柄

### 組入上位10銘柄

銘柄	業種	構成比率
1 ゴールドウイン	繊維製品	3.9%
2 ビジヨナル	情報・通信業	3.7%
3 東宝	情報・通信業	3.6%
4 テクノプロ・ホールディングス	サービス業	3.5%
5 BIPROGY	情報・通信業	3.5%
6 パーソルホールディングス	サービス業	3.5%
7 ヒューリック	不動産業	3.5%
8 タカラトミー	その他製品	3.5%
9 ミズノ	その他製品	3.4%
10 TDK	電気機器	3.4%

### 業種別構成



2071

# スマートESG30総合(ネットリターン)ETN

2025年3月31日基準

## ■ 連動対象指標の月間騰落率への寄与度分析

### 業種別

上位5業種		騰落率への寄与度(%)	下位5業種		騰落率への寄与度(%)
1	情報・通信業	+0.5%	1	電気機器	-0.9%
2	繊維製品	+0.5%	2	機械	-0.7%
3	サービス業	+0.4%	3	その他製品	-0.3%
4	不動産業	+0.1%	4	精密機器	-0.3%
5	卸売業	+0.0%	5	小売業	-0.1%

### 銘柄別

上位10銘柄		騰落率への寄与度(%)	下位10銘柄		騰落率への寄与度(%)
1	ゴールドウイン	+0.5%	1	アドバンテスト	-0.7%
2	テクノプロ・ホールディングス	+0.4%	2	ディスコ	-0.7%
3	パーソルホールディングス	+0.3%	3	リクルートホールディングス	-0.4%
4	BIPROGY	+0.3%	4	任天堂	-0.3%
5	SANKYO	+0.2%	5	東京エレクトロン	-0.3%
6	東宝	+0.2%	6	ダイフク	-0.2%
7	ビジョナル	+0.2%	7	島津製作所	-0.2%
8	バンダイナムコホールディングス	+0.1%	8	HOYA	-0.1%
9	ユー・エス・エス	+0.1%	9	タカラトミー	-0.1%
10	富士通	+0.1%	10	ファーストリテイリング	-0.1%

※連動対象指標の月間騰落率を主な要因に分解した概算値です。上位はプラスの寄与度の業種・銘柄、下位はマイナスの寄与度の業種・銘柄のみを表示。

## ■ 連動対象指標の構成銘柄

コード	銘柄	業種	コード	銘柄	業種
2181	パーソルホールディングス	サービス業	6857	アドバンテスト	電気機器
3003	ヒューリック	不動産業	6861	キーエンス	電気機器
4194	ビジョナル	情報・通信業	7476	アズワン	卸売業
4307	野村総合研究所	情報・通信業	7701	島津製作所	精密機器
4732	ユー・エス・エス	サービス業	7729	東京精密	精密機器
5991	ニッパツ	金属製品	7741	HOYA	精密機器
6028	テクノプロ・ホールディングス	サービス業	7832	バンダイナムコホールディングス	その他製品
6098	リクルートホールディングス	サービス業	7867	タカラトミー	その他製品
6146	ディスコ	機械	7974	任天堂	その他製品
6383	ダイフク	機械	8022	ミズノ	その他製品
6417	SANKYO	機械	8035	東京エレクトロン	電気機器
6702	富士通	電気機器	8056	BIPROGY	情報・通信業
6762	TDK	電気機器	8111	ゴールドウイン	繊維製品
6841	横河電機	電気機器	9602	東宝	情報・通信業
6845	アズビル	電気機器	9983	ファーストリテイリング	小売業

## ■ 連動対象指標情報

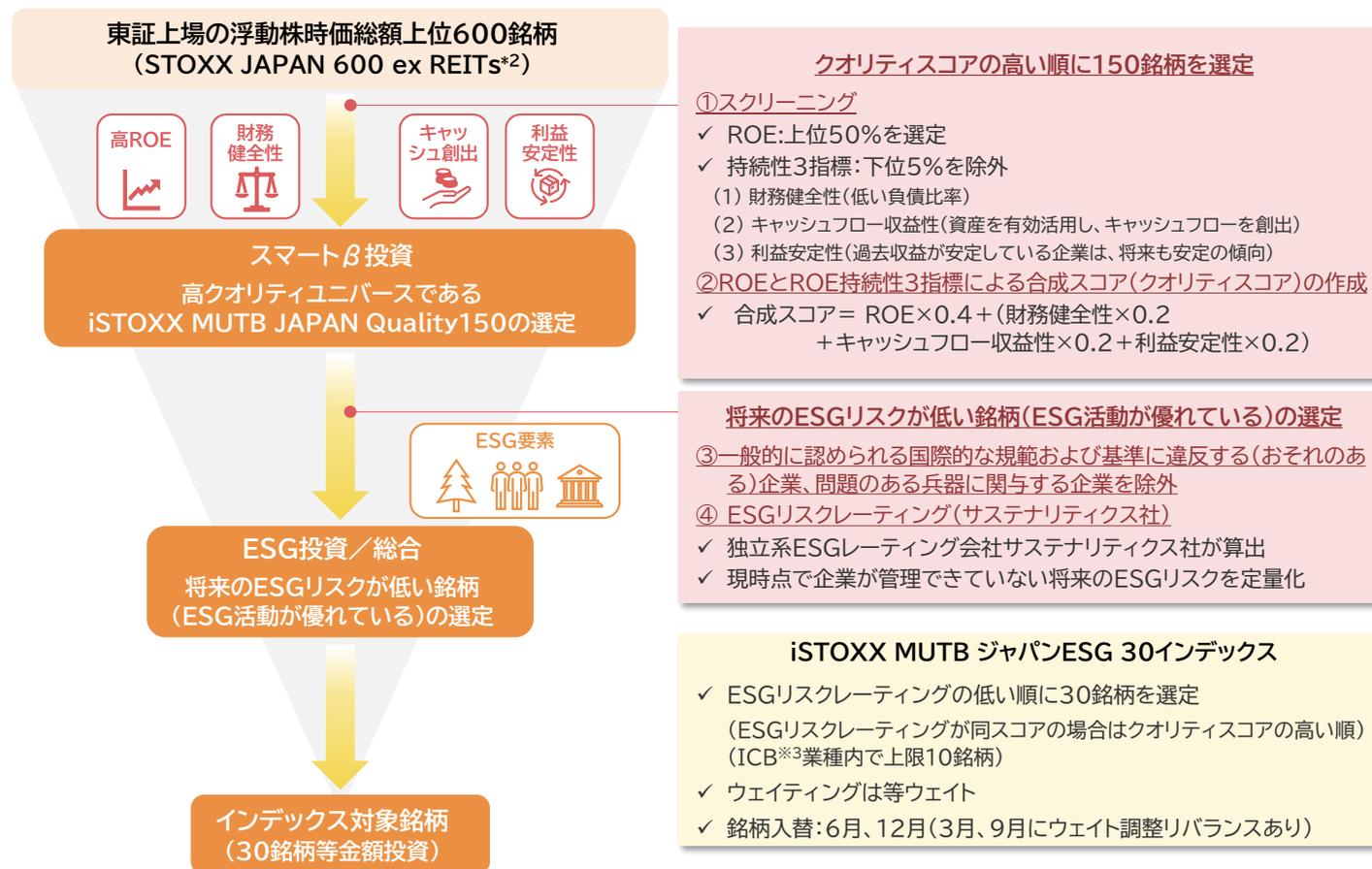
指数会社	: STOXX Ltd.
指標名称	: iSTOXX MUTB ジャパンESG 30インデックス(ネットリターン)
算出要領・指数値	: <a href="https://stox.com/index/IMJESGYN/">https://stox.com/index/IMJESGYN/</a>
Bloomberg	: IMJESGYN Index

2071

# スマートESG30総合(ネットリターン)ETN

2025年3月31日基準

## ■ 連動対象指標の構築プロセス\*1



(\*1) 詳細については指数の算出要領をご参照下さい。  
 (\*2) STOXX Japan 600 ex REITs: 東京証券取引所上場銘柄の内、低流動性銘柄を除いた上で、浮動株調整後時価総額上位600銘柄で構成。REITを除く。  
 (\*3) 業種分類の世界基準であるICB (Industry Classification Benchmark) 業種分類

## ■ ESGリスク・レーティングについて

### ◆ 概要

- 総合評価(レーティング)は、ESGに係る重要課題(Material ESG Issues、MEIs)をベースとしたエクスポージャーと各評価指標により算出

### ◆ ESGに係る重要課題(Material ESG Issues、MEIs)

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| ①製品及びサービスの環境・社会的インパクト | ⑪ サプライチェーンに係る人権          |
| ②人権                   | ⑫ 人的資本                   |
| ③データの機密性とデータ保護        | ⑬ 土地利用及び生物多様性            |
| ④ビジネス倫理               | ⑭ サプライチェーンに係る土地利用及び生物多様性 |
| ⑤贈収賄                  | ⑮ 労働安全衛生                 |
| ⑥基本的サービスへのアクセス        | ⑯ 金融機関のESGインテグレーション      |
| ⑦地域社会との関係             | ⑰ プロダクト・ガバナンス            |
| ⑧排出・排水・廃棄物            | ⑱ レジリエンス                 |
| ⑨事業活動に係る二酸化炭素         | ⑲ 資源利用                   |
| ⑩製品及びサービスに係る二酸化炭素     | ⑳ サプライチェーンに係る資源利用        |

(※コーポレートガバナンスは重要課題として全ての企業に適用)

### ◆ 評価方法(要旨)

- ESGリスクへのExposure評価
  - 全20個のMEIsから、インパクトの大きなMEIsを産業分類毎に選定
  - 各社の事業特性に基づき、個社別のExposureをスコア化
- ESGリスクのManagement評価
  - Exposureの中で、管理不可能なリスクを算出
  - 管理可能なリスクに、リスク管理の達成度合いの評価を乗じることで、管理されたリスクを算出
- 未管理の状態にあるESGリスクをスコア化
  - ESGリスクの中で、未管理の状態にあるリスクを合計し、当該企業のESGリスクレーティングを算出



※サステナリティクス社の資料を基に三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成

2071

## スマートESG30総合(ネットリターン)ETN

2025年3月31日基準

## ■主な投資リスク

当ETNは、連動対象指標である株価指数の変動や、その他の市場要因等の影響により、市場取引価格または一証券あたりの償還価額が変動します。これらの理由により生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。従って、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、市場取引価格または一証券あたりの償還価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、当ETNは預貯金と異なります。当ETNの市場取引価格または一証券あたりの償還価額の変動要因として主に以下のリスクがあります。下記に限定されるものではありませんので、その他の留意点などは有価証券届出書をご覧ください。

○ 発行体の信用リスク	当ETNは、発行体の信用力を背景として発行される証券であることから、発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、当ETNの価格が下落する又は無価値となる可能性があります。
○ 価格変動リスク	当ETNの連動対象である株価指数等は、様々な経済情勢等の影響を受けて価値が下落する可能性があります。これにより、当ETNの価格が下落し、投資元本を割り込む可能性があります。
○ 市場価格との乖離リスク	当ETNは、発行体が連動対象指標のリターンから管理費用を控除したものと一証券あたりの償還価額のリターンが連動するよう保証しております。しかし、市場での取引においては、当ETNの市場価格は需給状況によって変動するため、当ETNの一証券あたりの償還価額と当ETNの市場価格の値動きが一致しない可能性があります。
○ 流動性リスク	当ETNの取引量や、注文量が少ない場合には、株価指数等の市場実勢から見込まれる価格で売買ができない可能性があります。

## ■ファンドの費用・手数料

## 投資者が直接的に負担する費用

○ 売買委託手数料	取引所を通して売買される場合、販売会社が独自に定める手数料がかかります。
○ 取得時手数料	販売会社が独自に定める額がかかります。
○ 信託財産留保額	ありません。
○ 交換時手数料	販売会社が独自に定める額がかかります。

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 管理費用	ファンドの残存償還価額に年率0.85%を乗じて得た額
--------	----------------------------

## ■委託者・受託者

○ 委託者	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
○ 受託者	三菱UFJ信託銀行株式会社 日本マスタートラスト信託銀行株式会社

■インディカティブNAV(iNAV)<sup>\*1</sup>に関する情報

○ 算出会社	ISS STOXX Index GmbH
○ 配信ウェブサイト	<a href="https://stox.com/mumss-inav/">https://stox.com/mumss-inav/</a>

(※1) インディカティブNAVは、連動対象指標等に基づいて算出される、取引時間中におけるETNの一証券あたりの償還価額の推定値を表します。上記サイトでのインディカティブNAVは15秒毎に更新されますが、自動更新ではないため、最新の情報をご確認の際はブラウザをリロード(再読み込み)し更新する必要があります。上記サイトで表示されるインディカティブNAVは、ISS STOXX Index GmbHが算出・公表するものであり、三菱UFJモルガン・スタンレー証券が算出・公表するものではありませんのでご注意ください。

## ■その他ETNに関する概要

○ 信託財産名称	iSTOXX MUTB ジャパンESG 30 インデックス(ネットリターン)連動債
○ 信託財産発行会社	三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
○ 信託財産満期償還日	2040年9月10日
○ 指標連動債の償還、又は信託終了事由 <sup>*2</sup>	<p>《早期償還》本指標連動債は、税制や法令等の変更、連動対象となる指標の計算方法の著しい変更、ハッジ障害、その他の事由が生じた場合、期限前に償還される可能性があります。なお、償還価額の水準によって自動的に繰上償還されることはありません。</p> <p>《信託終了》本受益権の純資産総額が個別契約で定める金額(5億円)を下回り、発行会社が受託者に対して個別契約を終了する旨の書面による通知をしたときなどの事由が発生したときには、信託は終了し、上場廃止となります。</p>

(※2) 詳細については有価証券届出書をご覧ください。

2071

## スマートESG30総合(ネットリターン)ETN

2025年3月31日基準

## ■対象連動指標のディスクレーマー

STOXX Ltd. (以下「STOXX社」)、ISS STOXX Index GmbHおよびそのライセンサー、リサーチ・パートナーまたは情報提供者は、指数および金融商品に関して使用する関連商標のライセンス付与以外に、ライセンサーとの関係を有していません。

iSTOXX指数は、顧客の要請またはSTOXX Global index familyに統合されない個別のルールブックに基づく市場要件に合わせて作成されたものです。

STOXX社、ISS STOXX Index GmbHおよびそのライセンサー、リサーチ・パートナーまたは情報提供者は、以下の行為を行うものではありません。

- 金融商品に関するスポンサー、保証、販売または宣伝を行うこと
- 金融商品またはその他の有価証券に対する投資を推奨すること
- 金融商品の時期、金額または価格に関する決定について責任を負い、またはかかる決定を行うこと
- 金融商品の運営、管理またはマーケティングについて責任を負うこと
- 本指数の決定、構成もしくは計算に際して金融商品もしくは金融商品の保有者のニーズを考慮することまたはその義務を負うこと

STOXX社、そのライセンサーとしてのISS STOXX Index GmbHおよびそのライセンサー、リサーチ・パートナーまたは情報提供者は、金融商品またはそのパフォーマンスに関して何らの保証も行わず、(過失があるか否かを問わず)一切責任を負うものではありません。具体的には、

- STOXX社、ISS STOXX Index GmbHおよびそのライセンサー、リサーチ・パートナーまたは情報提供者は、下記の事項について、明示的または黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつ一切責任を負いません。
  - ・本指数および本指数に含まれるデータの使用に関して金融商品、金融商品の保有者またはその他の者が得る結果
  - ・本指数およびそのデータの正確性、適時性および完全性
  - ・本指数およびそのデータの商品性および特定目的または使用への適合性
  - ・金融商品のパフォーマンス全般
- STOXX社、ISS STOXX Index GmbHおよびそのライセンサー、リサーチ・パートナーまたは情報提供者は、本指数またはそのデータの誤り、遺漏または中断について、何らの保証も行わず、一切責任を負いません。
- いかなる状況においても、STOXX社、ISS STOXX Index GmbHおよびそのライセンサー、リサーチ・パートナーまたは情報提供者は、かかる本指数もしくはそのデータの誤り、遺漏もしくは停止の結果としてまたは金融商品に関連して一般的に生じた逸失利益または間接、懲罰的、特別もしくは結果的損害もしくは損失について、かかる損失または損害が生じる可能性を認識していた状況であっても、(過失があるか否かを問わず)責任を負いません。

STOXX社およびISS STOXX Index GmbHは、金融商品の買主またはその他の第三者といかなる契約関係も有していません。当社とSTOXX社との間のライセンス契約は、両者の利益のみに帰するものであり、金融商品の保有者またはその他の第三者の利益に帰するものではありません。

発行者、トラスティー、代理人、計算代理人、ディーラーまたは金融商品に関するその他の仲介者のいずれも、本指数またはその承継指数の計算、管理、公表について、一切責任を負いません。

## 当資料のお取り扱いについての注意事項

- 当資料は投資者の皆様へETNの運用状況に関する情報を提供する目的で三菱UFJモルガン・スタンレー証券が作成した資料です。
- 当ETNは値動きのある証券に投資をするため、市場取引価格または一証券あたりの償還価額が大きく変動します。ETNの価格変動による損益は投資者の皆様へ帰属します。
- 本資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本資料中の数値やグラフなどは過去の実績であり将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 有価証券届出書の内容をご確認の上で、ご自身でご判断ください。

&lt;委託者&gt;

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号  
 加入協会: 日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会  
 一般社団法人 金融先物取引業協会  
 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

## 重要な注意項目

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が信頼できると考える情報ベンダーから取得したデータをもとに作成されておりますが、機械作業上データに誤りが発生する可能性があります。当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。本資料は、お客さまへの情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料にて言及されている投資やサービスはお客さまに適切なものであるとは限りません。また、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

当社は、本資料の論旨と一致しない他のレポートを発行している、あるいは今後発行する可能性があります。本資料でインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、当社自身のアドレスが記載されている場合を除き、アドレス等の内容について当社は一切責任を負いません。本資料の利用に際してはお客さま御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。当資料中のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の成果を約束するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので実質的な投資成果を示すものではありません。

(利益相反情報について)

当社および関係会社の役職員は、本資料に記載された証券について、ポジションを保有している場合があります。当社および関係会社は、本資料に記載された証券、同証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買いまたは売りのポジションを有している場合があります。今後自己勘定で売買を行うことがあります。また、当社および関係会社は、本資料に記載された会社に対して、引受等の投資銀行業務、その他サービスを提供し、かつ同サービスの勧誘を行う場合があります。

(ETF・ETNの手数料等およびリスクについて)

国内株式(国内ETF、国内ETNを含む)の売買取引には、約定代金に対し最大1.43%(税込)の売買手数料をいただきます。(ただし約定代金が193,000円以下の場合は、最大2,750円(税込))。国内株式(国内ETF、国内ETNを含む)の有価証券を国内店頭取引(当社が相手方となるお取引)で売買する際は、対価のみの受け払いとなります。お取引の形態によっては、売買手数料をいただく場合があります。国内株式は、株価の変動により損失が生じるおそれがあります。ETF及びETNは、連動する指数等や外国為替相場の変動、組入有価証券の価格の変動、組入有価証券の発行会社の倒産や財務状況等の悪化、その他の要因の影響等により、市場取引価格または基準価額が値下がりし、それにより損失が生じることがあります。本商品のお取引に際しては、契約締結前交付書面や本資料をあらかじめよくお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、販売手数料、管理費用などの手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で行っていただきますよう、お願い申し上げます。ご不明な点はお取引開始前にご確認ください。

(商号等)

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号

(加入協会)

日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会